

令和5年度 第1回 稲沢市図書館協議会 議事録（要旨）

- 1 日時 令和5年5月23日（火） 午後2時から午後3時30分まで
- 2 場所 稲沢市立中央図書館 研修室
- 3 出席委員 ①小中学校教頭会代表 岸美千代
②図書館ボランティアきらら会代表 田中真由美
③図書館ボランティア音訳グループせせらぎ代表 鈴木幸江
④子育て支援関係者 浅野順子
⑤子育て支援関係者 服部祐子
⑥学識経験者 世良清
⑦学識経験者 伊東啓子
⑧学識経験者 鵜飼貢
- 4 欠席委員 小中学校校長会代表 小久保規与子
子ども会連絡協議会代表 窪崎香
- 5 会議同席者 教育長 広沢憲治
教育部長 荻須正偉
- 6 事務局 館長 塚本ゆかり 主幹 石川路子 水野正己 光田典代
- 7 傍聴者 なし
- 8 議題 (1) 令和4年度図書館事業実績について
(2) 令和5年度図書館事業計画について
(3) 第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について
(4) その他

【開会】

(教育長)

・・・教育長挨拶・・・

協議事項（1）「令和4年度図書館事業実績について」

(事務局)

協議事項（1）「令和4年度図書館事業実績について」説明（資料「資料1」）。

(委員)

単純な質問なのですが、例えば1ページの1の表では中央図書館の一般書の購入冊数が5,772冊で、2の表では中央図書館の一般書の貸出冊数が317,180冊となっています。続いて2ページの蔵書冊数ですが、中央図書館の一般書ですと317,806冊ということで、こちらを見ますとほぼ1冊蔵書が1回ずつ貸出しされたということが読み取れるのですが、その下のコミックについては、1の表では中央図書館の購入冊数0、2の表では貸出冊数

が29,797冊あるのですけれども、3の表では蔵書が0になっています。こちらの数字が0であるのはなぜなのか、蔵書がなければ貸出しができないのではないかと思いましたが、数字のいきさつがあるかと思い、ご質問させていただきました。

(事務局)

資料として購入しておりますのはコミックと呼ばれるいわゆる漫画の単行本なのですが、平和町図書館でのみ購入して配架しております。しかしながら、2の貸出冊数につきましては、3館の図書はどこでも予約をして借りることができ、それぞれの図書館で借りられた冊数になりますので、コミックの貸出冊数として数字に表れています。以上です。

(委員)

すなわち、中央図書館に見えた方が平和町図書館から取り寄せて借りられたということですね。したがって、蔵書としては0であっても正しいですね。理解できました。

協議事項(2)「令和5年度図書館事業計画について」

(事務局)

協議事項(2)「令和5年度図書館事業計画について」説明(資料「資料2」)。

(委員)

図書館事業計画とはあまり関連性はないのですが、きらら会のおはなし会を昨年度は第1土曜日の午後2時からという形で月に1回行っておりました。今年度からは乳幼児向けのおはなし会も再開したいということで第4火曜日の午前11時からという形で再開しましたところ、4月25日の第1回目は0歳児1名と大人1名という2名だけの参加でした。コロナ前は研修室で親子15組で30名ぐらいという形だったのが、やはりコロナ禍の時に全く行われなかったということで、その間に成長されて乳幼児ではなくなっているお子さんもいらっしゃると思うのですが、再開しても中々おはなし会自体が周知されていないということを実感しました。本日もちょうどきらら会の第2回目のおはなし会だったのですが、記録を見たところお子さん2名で大人の方3名、計5名でした。土曜日は4月に11名、5月に9名ということで、以前は土曜日や日曜日も開催しており、そちらの方が人数が少なかったのですが、今年度から再開した分については、乳幼児の親子の参加がかなり少なくなってきました。したがって、何かPRしていかないと乳幼児からの読み聞かせが小中学校での読書に繋がっていかないのではないかと危惧していますので、皆様にお伝えした次第です。

(議長)

乳幼児ということで、親御さんも過敏になっているかもしれないですね。委員の皆様からも広めていただきますようによろしくお願ひいたします。せせらぎさんはよろしいですか？

(委員)

せせらぎの方からは、館長のご尽力もあり国立国会図書館と繋げていただきまして、全国で希望される方にせせらぎが製作したDAISY図書を利用してもらえることになり、来月より第1回目のCDを送ることができるようになりました。以上です。

(議長)

ありがとうございました。昨年図書館の方でご助力いただき、国立国会図書館へ繋がったのは大きな一歩だと思います。

協議事項(3)「第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について」

(事務局)

協議事項(3)「第3次稲沢市子ども読書活動推進計画について」説明(資料「資料3」)。

(委員)

アンケートの内容についてですが、今ご説明いただいた「家読(うちどく)」の設問の後に「やってみよう家読」という情報が今回たくさん記載されていました。令和3年度の資料には具体的な情報はなかったのですが、今回のように家読に関してきちんと載せていただくことで、アンケートを手にした時におすすめ等が把握できて非常に良い参考資料になっていると思います。

(事務局)

先程委員からご意見いただきましたことに関しましては、令和3年度の時に空白なのでそのままではもったいないというご指摘をいただきまして、令和3年度に、ご覧いただいている内容を追加してこの状態で実施させていただいたものでございます。したがって内容としましては、家読は今でも継続できる内容ではございますが、下のイベントが令和元年のものになっており、今後変更していく予定でございますのでよろしく願いいたします。

(議長)

イベントは今後変更していくということでご了承ください。

他によろしいでしょうか？それでは一つ確認させていただいてよろしいですか？

最後のブックスタートに関するアンケートのお願いのQ6なのですが、途中から「今は新型コロナウイルス感染予防のために中止しています。再開した場合参加したいと思いますか」という一文ですが、この文言は今年度アンケートをとるにあたり妥当なのでしょうか。

(事務局)

こちらにご提示したものは令和3年度の内容そのままになっておりますので、この質問に関しましては、もちろん今の状況に変更させていただきます。

(議長)

ブックスタートを行っているという前提でのアンケートになるということですね。せっかくなのでもう一つだけ教えていただきたいのですが、中学校・高校を対象としたアンケートの中の2ページ目のQ2-5のところで「コミック」という用語が出てくるのですが、その下のQ2-7では「マンガ」という用語になっています。小学校のアンケートでは全て「マンガ」で統一されているのですけれども、この用語の使い分けに理由はあるのですか？

(事務局)

この「マンガ」と「コミック」の位置づけについて、中学校・高校に関しましては、ある程度平和町図書館のコミックの利用を想定して、コミックとマンガ雑誌を別にさせていただいた

ので敢えてコミックという文言を使わせていただきました。それに対して小学校用のアンケートにつきましては、アンケート対象が2年生と5年生に分かれますので、5年生ですと「コミック」という言葉に反応ができて、2年生が反応できない可能性を考慮しまして、「マンガ」とさせていただきます。

協議事項（４）「その他」

（事務局）

その他事項について説明。

（委員）

図書館年報の19ページの予算にて増減値があるのですが、需用費以降の項目の費用の増減について、簡単で構いませんので内訳を教えてくださいと思います。

（事務局）

令和4年度及び令和5年度の当初予算の主な動きにつきましては、目立った概略だけを説明させていただきます。報酬から共済費に関しましては人件費でございますので、その時の単価と人数の変更でございますが、令和4年度から令和5年度までに関して人員の変更はございません。報償費につきましては、今回先程から説明をさせていただいております公募型プロポーザルを実施することに伴う増額でございます。需用費の増額につきましては、一部新たな資料に対する装備費用を計上していきますことと、必要な需用費の分でございますので目立ったものとして何かということではございませんのでご理解いただきたいと思います。使用料及び賃借料につきましても同様でございます。特段に内容が変わったというものではございませんので、よろしく願いいたします。以上です。

【閉会】

（教育部長）

・・・教育部長挨拶・・・

（以上）